

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-049466

(43)Date of publication of application : 20.02.1998

(51)Int.Cl. G06F 13/00
G06F 13/00
H04L 12/24
H04L 12/26

(21)Application number : 09-107524

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 24.04.1997

(72)Inventor : SATO KAZUO

(30)Priority

Priority number : 08105298

Priority date : 25.04.1996

Priority country : JP

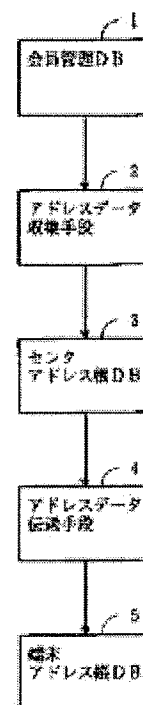
(54) SYSTEM AND METHOD FOR AUTOMATICALLY COLLECTING ADDRESS DATA

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve operability and improve the quality of information by collecting corresponding address data by retrieval from a member management DB based upon a 2nd member's ID (identification number) in a center address book DB(data base).

SOLUTION: The member management DB1 is stored with address data corresponding to the ID of the 2nd member and on the basis of the ID of the 2nd member, an address data collecting means 2 collects address data by retrieval from the member management DB1.

Then the center address book DB3 is stored with the ID of a 2nd member as a communication party and address data on the 2nd member collected by the address data collecting means 2 corresponding to the ID of a 1st member who is to communicate. Address data on ≥ 1 2nd member are transferred to the terminal of the 1st member by an address data transmitting means 4 and stored in a terminal address book DB5.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-49466

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月20日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 13/00	3 5 5 3 5 1		G 0 6 F 13/00	3 5 5 3 5 1 G
H 0 4 L 12/24 12/26		9744-5K	H 0 4 L 11/08	

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平9-107524

(22) 出願日 平成9年(1997) 4月24日

(31) 優先権主張番号 特願平8-105298

(32) 優先日 平8(1996) 4月25日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72) 発明者 佐藤 和夫

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 井桁 貞一

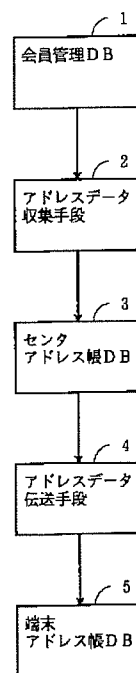
(54) 【発明の名称】 アドレスデータ自動収集システムと方法

(57) 【要約】

【課題】 通信する相手のアドレスデータを自動的に収集するアドレスデータ自動収集システムと方法に関し、日常行なう通信操作にともない自動的に通信相手のアドレス情報を収集する手段を提供することを目的とする。

【解決手段】 所属する会員のIDに対応させてアドレスデータを格納する会員管理DB 1を備えて会員の通信を管理するセンタにおいて、会員のIDで会員管理DB 1を検索してアドレスデータを収集するアドレスデータ収集手段2と、第1の会員のIDに対応して通信相手となる第2の会員のID、ならびに上記第2の会員のIDをキーとして上記アドレスデータ収集手段2により収集された第2の会員のアドレスデータを格納するセンタアドレス帳DB 3とを備えるように構成する。

本発明の構成図



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所属する会員の ID に対応して会員のアドレスデータを格納する会員管理 DB を備えて会員の通信を管理するセンタにおいて、

通信する第 1 の会員の ID に対応させて通信相手の第 2 の会員の ID を格納するセンタアドレス帳 DB と、
上記センタアドレス帳 DB の第 2 の会員の ID に基づき上記会員管理 DB を検索して対応するアドレスデータを収集するアドレスデータ収集手段と、を備えることを特徴とするアドレスデータ自動収集システム。

【請求項 2】 センタアドレス帳 DB に格納されている通信する第 1 の会員の ID に対応した 1 以上の通信相手の会員のアドレスデータを第 1 の会員の通信する端末に伝送するアドレスデータ伝送手段と、

上記伝送されたアドレスデータを格納する端末アドレス帳 DB と、

を追加して備えることを特徴とする請求項 1 記載のアドレスデータ自動収集システム。

【請求項 3】 所属する会員の ID に対応して会員のアドレスデータを格納する会員管理 DB を備えて会員の通信を管理するセンタにおいて、

通信する第 1 の会員の ID に対応させて通信相手の第 2 の会員の ID、ならびに第 2 の会員の ID に基づいて上記会員管理 DB を検索して収集されたアドレスデータをセンタに保持することを特徴とするアドレスデータ自動収集方法。

【請求項 4】 通信する第 1 の会員の ID に対応してセンタに保持されている 1 以上の通信相手の会員のアドレスデータを第 1 の会員の通信する端末に伝送し、

上記伝送されたアドレスデータを端末に保持することを特徴とする請求項 3 記載のアドレスデータ自動収集方法。

【請求項 5】 所属する会員の ID に対応して会員のアドレスデータを格納した会員管理 DB により会員の通信を管理するコンピュータを、

通信する第 1 の会員の ID に対応させて通信相手の第 2 の会員の ID を格納するセンタアドレス帳 DB 生成手段、

上記センタアドレス帳 DB の第 2 の会員の ID に基づき上記会員管理 DB を検索して対応するアドレスデータを収集するアドレスデータ収集手段、として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は電子メールなど電子的媒体による通信を行なうシステムにおいて、通信する相手のアドレスデータを自動的に収集するアドレスデータ自動収集システムと方法に関する。

【0002】

2

【従来の技術】 従来、電子メールシステムの利用者が通信する相手のアドレスデータを収集する方法としては、センタの会員管理 DB（データベース）を与えられた検索手段を操作して収集することができた。内容としては、氏名、ID 番号（識別番号）、居住地域、使用端末名程度であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来もこのようにいちいち端末を操作して得られた情報を何らかの記録手段によって集積して個人用のアドレス帳を作ることができた。しかし、これらの情報の活用は電子メールの宛先を別途アドレス帳を繰って見てそれを端末を操作して入力すると言うように個別な使い方と別途入力してシステム of アドレス帳を作ったりして利用していた。

【0004】 また、無線を利用した移動体による通信が一般に普及が進みつつあり、機器の小型化とあいまって電子メールなども携帯した端末から使われるようになってきた。さらに、これらの端末は高性能のコンピュータでもあり日常携帯して各種の処理が可能な携帯情報端末としても利用される。

【0005】 このような携帯情報端末ではセンタと接続して利用するだけでなく単独での利用も行なわれるのでアドレス帳が端末にも保持出来ることが望ましい。また、アドレス帳の保持する内容も上記した従来の項目に加えて住所、電話番号や勤務先情報など日常の生活やビジネスで必要とする情報も整備されることが望ましい。さらに、当然であるが保持されている内容は最新の情報であることが望ましい。

【0006】 以上のような解決すべき問題、課題があり、本発明はこのような点にかんがみて、アドレス帳として実用的で且つ最新な内容を、日常行なう通信操作にともない自動的に通信相手のアドレス情報を収集する手段を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記の課題は下記の如くに構成されたアドレスデータ自動収集システムと方法によって解決される。

【0008】 図 1 は、本発明の構成図である。1 は所属する会員の ID に対応してアドレスデータを格納する会員管理 DB であり、センタが利用資格を与えた会員の属性を格納し通信を管理する為に備えるものである。2 は会員の ID に基づいて上記会員管理 DB 1 を検索してアドレスデータを収集するアドレスデータ収集手段、3 は不図示のセンタアドレス帳 DB 生成手段により生成され、通信する第 1 の会員の ID に対応させて、通信相手となる第 2 の会員の ID ならびに上記第 2 の会員の ID に基づいて上記アドレスデータ収集手段 2 により収集された第 2 の会員のアドレスデータを格納するセンタアドレス帳 DB である。

【0009】 4 はセンタアドレス帳 DB 3 に格納されて

いる通信する第 1 の会員の ID に対応して格納されている 1 以上の通信相手の会員のアドレスデータを第 1 の会員の通信する端末に伝送するアドレスデータ伝送手段であり、5 は上記伝送されたアドレスデータを格納する端末アドレス帳 DB である。

【0010】

【発明の実施の形態】図 2 に本発明の実施の形態のシステム構成例を示す。10 はパソコン通信の電子メールのコンピュータセンタであり、20 はパソコン通信を行なう利用者が操作する情報通信端末である。これらは通信回線 19 により必要ときに接続されて通信する。通信回線は公衆回線や移動体通信を利用して無線で通信を行なうこともできる。したがって情報通信端末 20 は通信を行なわないとき単独に情報処理を行なうこともできるものであるが通常のデスクトップ型、パソコンやワードプロセッサでもよい。

【0011】メールセンタ 10 には電子メールの通信のセンタ機能を果たす電子メールセンタシステム 11 があり、電子メールを行なう会員を管理するために会員の ID 番号に対応して氏名、住所、電話番号、クレジットカード番号等の属性情報を格納したデータベースを会員管理 DB 12 として保持している。

【0012】アドレスデータ自動収集システム 13 は本発明のセンタ側の機能を持ち、アドレスデータ収集の手段を実現するものであり次に示す DB に関連する情報を記憶している。

【0013】14 のサービス登録 DB はアドレスデータの自動収集のサービスを受けるように登録した ID を記憶するものでこの ID を持つ会員がメールの送受信を行なうときにのみアドレスデータの収集が行なわれる。15 はセンタ側にアドレス帳を記憶するセンタアドレス帳 DB であり、16 のデータ項目登録 DB は各利用者の ID 別に収集すべきデータ項目が何かを記憶し、17 のデータ収集不要 ID-DB は収集すべきでない相手会員の ID を保持している。

【0014】また、18 のアドレスデータ伝送機構は要求のあった ID に対応した会員が持つアドレスデータをセンタアドレス帳 DB 15 から情報通信端末 20 に伝送するものである。

【0015】情報通信端末 20 には端末側の電子メール端末システム 21 があり上記センタを介した電子メール機能を持っている。そこには、上記センタから伝送されたアドレスデータを受け取るアドレスデータ伝送機構 23 とそれを端末側に保持する端末アドレス帳 DB 22 を備えてある。また 24 は情報通信端末の操作を行なう入出力操作部である。

【0016】動作の説明を行なう前に各 DB の構成の説明を行なう。まず、会員管理 DB 12 の構成例を図 3 に示す。会員の ID 番号 01、02、03、・・・に対応してそれぞれ 30a、30b、30c、・・・のような

項目の並びを保持している。ひとつの会員について保持する属性の項目は図に示す順番に、まず登録された会員を識別する ID 番号、データ版数は会員情報の変更があったときに更新し区別するもので実際にはさらに不図示の更新日付も記憶する。氏名、住所、電話番号は契約上欠かせないものである。会員の使用している端末機種につづいてクレジットカード番号は利用料金の支払いに必要なものである。データ提供可否コードは通信相手が要求する本発明のアドレスデータの自動収集の対象とする事を許すか拒否するかの表示をするものである。これらの会員の属性は全てを公開できるものではなく限定されることは言うまでもなく、上記データ提供可否コードによる提供拒否の他センタとしての規制を行なっている。

【0017】次に、図 4 にアドレス帳 DB の構成例を示す。(a) はセンタに備えられるセンタアドレス帳 40 であり会員ごとにその通信相手のアドレスデータを保持するように構成されている。例示してあるように 41a には ID 番号 01 の会員の通信相手のアドレスデータを蓄積して保持しており、41b には ID 番号 02 の会員のアドレス帳を保持するようになっている。例えば会員 ID 番号 01 のアドレス帳には通信相手 ID 11 のアドレスデータ、通信相手 ID 12 のアドレスデータ、通信相手 ID 13 のアドレスデータ、・・・が記憶されている。

【0018】各通信相手のアドレスデータ 42 の内容を (b) に示す。基本の項目として通信相手の ID 番号をキーとし、データ版数は会員管理 DB 12 を検索したときの会員 DB に記されていたデータ版数を転記したものの、相手会員の氏名がある。

【0019】住所、電話番号とその会員が使用している端末機種名は後述するデータ項目登録 DB 16 で指定されている必要項目のみ収集する対象とする。(c) はセンタから端末に伝送され端末に保持される端末アドレス帳 43 を示す。これはセンタアドレス帳の 1 つの会員の持つアドレスデータ群をそのまま抜き出した形式となっている。

【0020】図 5 はサービス登録 DB の例を示す。構成は会員 ID 番号 51 とサービス種別 52 を対比させた形式となっている。すなわちアドレスデータの自動収集を必要とする会員は別途このサービス登録 DB に自分の ID を予め登録しておかなければならない。同時に通信相手のアドレスデータの収集を行なうタイミングをサービス種別 52 に登録しておく。サービス種別には A、B、C があり A は通信を行なうとき、メールの送信時に送信相手のアドレスデータを送信元の保持するアドレス帳に収集することを示す。B は受信相手のみ、すなわち送信する相手つまり受信を行なう相手会員のアドレス帳に送信元会員のアドレスデータを記憶させるのである。また、C は通信時に送信側、受信側双方のアドレス帳にお互いの通信相手のアドレスデータを収集するようにする

10

20

30

40

50

ことを示す。

【0021】図6はデータ項目登録DBの例である。構成は上記サービス登録を行なった会員ID番号61a、61b、・・・ごとにその会員ID番号に対応して収集すべきアドレスデータの必要項目をその項目番号の並びで示すものである。

【0022】例えば、61aに示す会員ID番号01が収集を必要とする項目は丸で囲んだ数字で示した項目すなわち①ID番号、②データ版数、③氏名、⑤電話番号であるとしている。ここでは項目番号4番の住所や6番の端末機種は必要なしとしている。一方会員番号02では基本項目のみで住所、電話番号等は不要であると登録している例である。システムとしてサービスは基本項目のみを対象とするようにしてデータ項目登録DBを設置しないようにしてもよい。

【0023】以上のようなデータの構成を基に本発明の実施の形態のシステムの動作の説明を行なう。図7にアドレスデータ収集のフローチャートを示す。このフローチャートはパソコン通信のメール送信が行なわれ、送信会員のID番号、受信会員のID番号を組としてシステムが保持しているとき1通のメールの通信終了処理の一部として起動されるものである。

【0024】送信元のサービス登録がサービス種別AまたはCのときは、送信相手のアドレスデータが収集され送信元のアドレス帳に追加あるいは更新される。さらに送信先相手のサービス登録がサービス種別BまたはCのときは、送信元のアドレスデータが収集され送信先相手のアドレス帳に追加あるいは更新される。

【0025】ステップS711では送信元のID番号によりサービス登録DB14を検索する。ステップS712でその結果送信元のIDがアドレスデータ収集のサービス対象として登録されていない場合はサービスをせずにステップS721に移る。登録されているとステップS713に進みサービス種別を調べ、Bであれば送信元のアドレス帳は作らずステップS721に移る。AあるいはC、すなわち送信元のアドレス帳に通信相手のアドレスデータを収集するとしてステップS714においては、送信先相手のIDで会員管理DBを検索しそこに記録されている送信先相手のアドレスデータを抽出する。

【0026】ステップS715では、送信元のIDによりアドレス帳DBを検索し送信元のアドレス帳の中に相手IDのアドレスデータがあるかを調べる。該当データすなわち相手のアドレスデータがない場合は新規にアドレスデータを送信元のアドレス帳に登録する。すでに格納されている場合はステップS717でアドレスデータの版数を比較する。つまりステップS714で抽出した会員管理DBのアドレス情報に記憶されていたデータ版数とステップS715で得られたアドレスデータに記憶されていたデータ版数を比較して新しい版数のアドレスデータを送信元のアドレス帳に登録する。

【0027】ステップS721以降は上記送信元のアドレス帳更新と同様に送信先のアドレス帳更新を行なう動作を示してある。すなわち、送信相手がメールを受信したときにアドレス帳を更新したいとしてサービス登録していたときにメールの送信元のアドレスデータを収集する動作を示している。

【0028】ステップS721、S722、S723でサービス対象か否かを調べ、ステップS724、S725・・・、S728で送信先のアドレス帳に送信元のアドレスデータを登録するように動作する。

【0029】センタに備えられたセンタアドレス帳DB15に格納された各会員のアドレス帳は当然必要なときには端末を操作する会員がこれを画面に呼び出して参照したり、これを利用して送信操作を簡単にしたりすることはセンタに備えられた一般的な機能の拡張により容易に実現できる。

【0030】このようにメールの通信を行なう度に通信した二つの会員のそれぞれの登録したサービス内容にしたがって両方のアドレス帳にお互いの相手のアドレスデータを収集して常に最新のアドレス情報に維持しておくことが可能となる。

【0031】図8にはアドレスデータ伝送のフローチャートを示す。情報通信端末20の入出力操作部24からアドレスデータの伝送を指示することにより情報通信端末20のアドレスデータ伝送機構23が起動される。

【0032】ステップS81、ステップS82では操作している端末に通信している会員のID番号に基づいてサービス登録DB14を検索し、ID番号がサービスを受けるべく登録していることを確認している。

【0033】ステップS83において端末から依頼した会員IDでセンタアドレス帳DB15からその会員に属するアドレス帳を抽出しステップS84で端末に伝送し端末アドレス帳DB22に格納する。

【0034】端末アドレス帳22はメールを送信するときの宛先IDの検索の他、通信をしないときでも電話帳、住所録など日常の個人情報、ビジネス情報として活用することができる。

【0035】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように本発明によれば、日常行なう通信操作にともない自動的に実用的で且つ最新な通信相手のアドレス情報を収集し、操作効率を向上し情報の品質向上を図るという工業的效果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の構成図

【図2】 本発明の実施の形態のシステム構成例

【図3】 会員管理DBの例

【図4】 アドレス帳DBの構成例

【図5】 サービス登録DBの例

【図6】 データ項目登録DBの例

【図7】 アドレスデータ収集のフローチャート

【図8】 アドレスデータ伝送のフローチャート

【符号の説明】

1 会員管理DB

2 アドレスデータ収集手段

3 センタアドレス帳DB

4 アドレスデータ伝送手段

5 端末アドレス帳DB

【図1】

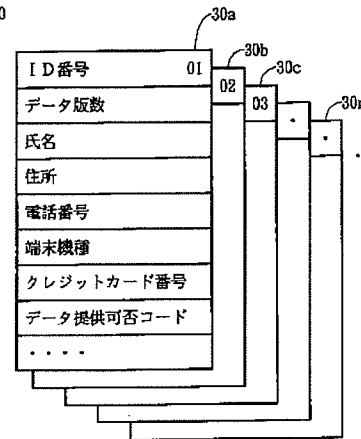
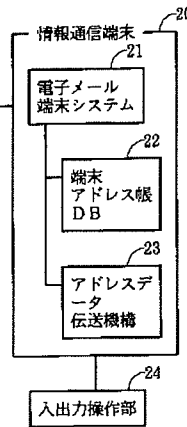
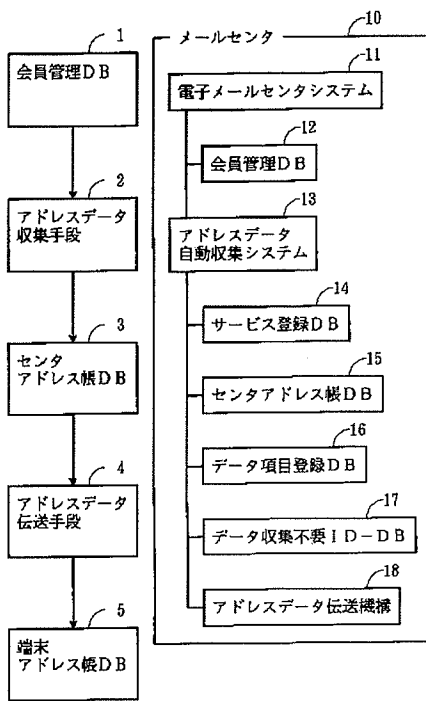
【図2】

【図3】

本発明の構成図

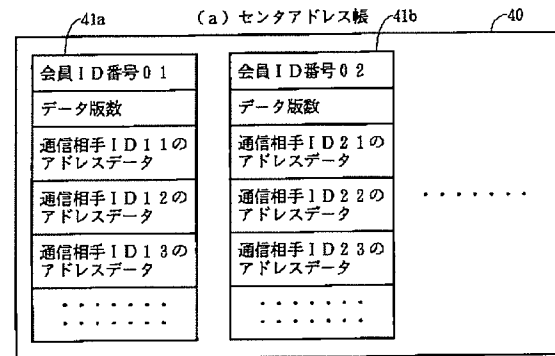
本発明の実施の形態のシステム構成例

会員管理DBの例



【図4】

アドレス帳DBの構成例



【図8】

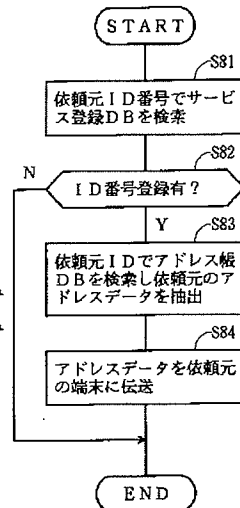
アドレスデータ伝送のフローチャート

【図5】

サービス登録DBの例

会員ID番号	サービス種別
ABC123	A
LMN345	C
XYZ789	B
.....	.
.....	.

A: 送信相手のみ
B: 受信相手のみ
C: 両方とも



(b) アドレスデータ

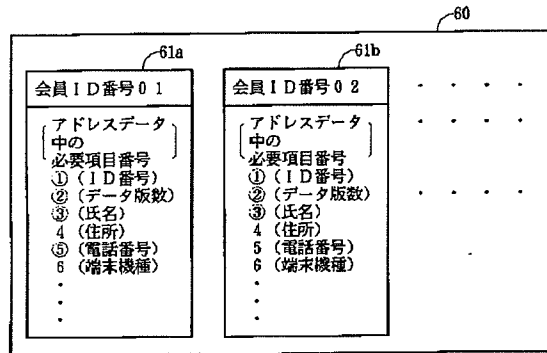
ID番号	データ版数	氏名	住所	電話番号	端末機種
------	-------	----	----	------	------

(c) 端末アドレス帳

データ版数
通信相手ID51のアドレスデータ
通信相手ID52のアドレスデータ
通信相手ID53のアドレスデータ
.....

【図6】

データ項目登録DBの例



【図7】

アドレスデータ収集のフローチャート

